

光星ベスト4



【樟南 - 光星】1回裏光星1死二塁、北川が右中間に先制のタイムリー二塁打を放つ。投手青野、捕手鶴岡

甲子園
準々決勝
強豪・樟南(鹿^児島)を撃破

樟南	光星
0	1
0	0
0	0
0	1
0	0
0	0
0	0
0	0
1	x
1	2

第八十二回全国高等学校野球選手権大会は十二日目の十九日、甲子園球場で準々決勝を行った。

第二試合では本県代表の光星が登場し、鹿児島県代表の樟南と対戦。光星は先発の根市が好投をみせ樟南打線を要所で抑え、樟南の九回の反撃をし、2・1で勝ち、県勢では六九年準優勝した三沢高以来、三十一年ぶりに準決勝進出を果たした。

塁の好機に北川が右中間を破る二塁打を放ち1点を先制。

四回裏にも二死三塁から池田の内野ゴロを三塁手が後逸、1点を加え2・0とリードした。

光星の先発・根市は速球とスライダーがさえ、強打の樟南打線に的を絞らせず序盤から好投、12三振を奪った。九回に1点を奪われた後、同点のランナーをレフトの好返球でホームタッチアウト、ピンチをしのいだ。